



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 青山商事株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員 (氏名) 青山 理
 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 宮武 真人 TEL (084) 920-0050
 企画管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	49,857	△0.9	3,323	△6.9	1,852	△23.4	△129	—
22年3月期第1四半期	50,302	△5.9	3,570	△35.6	2,419	△73.3	367	△90.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△2.04	—
22年3月期第1四半期	5.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	326,358	225,013	68.3	3,505.82
22年3月期	333,709	226,805	67.4	3,535.07

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 222,904百万円 22年3月期 224,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	△2.0	2,200	△13.7	2,900	—	100	—	1.57
通期	194,400	△0.1	14,800	0.1	16,800	25.0	7,300	30.4	114.81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	67,394,016株	22年3月期	67,394,016株
23年3月期1Q	3,812,701株	22年3月期	3,812,701株
23年3月期1Q	63,581,315株	22年3月期1Q	63,582,232株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	P. 9
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	P. 9
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	P. 11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<紳士服販売事業> [青山商事(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商(なお、これまで紳士服販売事業に含めておりましたカジュアルランドあおやま(株)は当四半期から新会計基準の適用により、当事業から除いております。)]

当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直しの兆しが見られるものの、先行き不透明な状況が続いており、個人消費につきましては、社会保障に対する先行き不安や雇用回復の遅れなどにより厳しい状況が続いております。

このような状況下、青山商事(株)につきましては、一都三県を中心とした着実な出店、移転を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、厳しい消費環境を踏まえ、「洋服の青山」全店において5月より価格訴求を中心とした「総力祭」を実施するなど客数増加のための施策を積極的に実施した結果、既存店売上高は前年同期比99.9%となりました。

なお、4月から6月までの3ヶ月間のメンズスーツの販売着数は、前年同期比100.9%の661千着となりました。

店舗につきましては、当第1四半期に「洋服の青山」において9店舗を出店(内3店舗を移転)し、非効率な1店舗を閉店いたしました。また、「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」は非効率な1店舗を閉店し、業態を解消いたしました。

この結果、当第1四半期末の店舗数は下記のとおりであります。

(単位:店)

業態名	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	合計
店舗数	741	36	3	780

こうしたことから、当第1四半期の紳士服販売事業の売上高は420億29百万円となりました。また、営業利益につきましては、「総力祭」実施による売上総利益率の悪化などから29億88百万円となり、予想を若干下回る状況となっております。なお、当事業の売上高はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

<その他事業>

カード事業につきましては、概ね予想通りとなっております。商業印刷事業につきましては、予想を若干上回っており、雑貨販売事業につきましては、予想を若干下回っております。

また、新会計基準の適用により、紳士服販売事業から除いたカジュアルランドあおやま(株)につきましては、既存店売上高は前年同期比89.1%となり、予想を下回る状況となっております。

店舗につきましては「リーバイスストア」、「ジャンブルストア」をそれぞれ1店舗ずつ出店いたしましたので、平成22年6月末の店舗数は34店舗(「キャラジャ」30店舗、「リーバイスストア」2店舗、「セカンドストリート」1店舗、「ジャンブルストア」1店舗)となりました。

こうしたことから、その他事業全体では、概ね予想通りとなっております。

<連結経営成績>

上記の結果、当第1四半期の当社グループにおける売上高は498億57百万円(前年同期比99.1%)、営業利益は33億23百万円(前年同期比93.1%)となり、予想を若干下回る状況となっております。

経常利益は、「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価損16億円を営業外費用として計上したことなどにより、18億52百万円(前年同期比76.6%)となりました。

特別損失では、減損損失10億89百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4億93百万円など、合計16億31百万円を計上いたしました。

この結果、四半期純損失は1億29百万円(前年同期は四半期純利益3億67百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,649億53百万円(前期末比75億38百万円減)となりました。これは主として、商品及び製品が32億23百万円、営業貸付金が41億6百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は1,614億4百万円(前期末比1億87百万円増)となりました。

この結果、資産合計は3,263億58百万円(前期末比73億51百万円減)となりました。

負債について、流動負債は669億56百万円(前期末比12億95百万円減)となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が22億78百万円減少したことによるものであります。

固定負債は343億88百万円(前期末比42億64百万円減)となりました。これは主として、長期借入金50億30百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,013億44百万円(前期末比55億59百万円減)となりました。

純資産合計については2,250億13百万円となり、前期末と比べ、17億91百万円の減少となりました。これは主として、配当金の支払12億71百万円により利益剰余金が14億1百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本資料の発表日現在におきましては、平成22年5月7日に発表した連結業績予想を変更しておりません。なお、業績予想におけるデリバティブ評価損益につきましては、平成23年3月末の為替相場、日米金利差が平成22年3月末と不変であるとの前提のもとに、通期で23億60百万円のデリバティブ評価益(営業外収益)を予想しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ10百万円、税金等調整前四半期純利益は524百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は610百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,138	31,347
受取手形及び売掛金	11,130	11,986
有価証券	38,042	34,468
商品及び製品	36,295	39,518
仕掛品	44	37
原材料及び貯蔵品	591	603
営業貸付金	45,219	49,326
その他	6,302	6,047
貸倒引当金	△811	△841
流動資産合計	164,953	172,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	124,267	122,922
減価償却累計額	△64,026	△62,260
建物及び構築物(純額)	60,240	60,662
土地	33,241	33,109
その他	20,009	19,120
減価償却累計額	△11,546	△9,913
その他(純額)	8,462	9,207
有形固定資産合計	101,945	102,978
無形固定資産		
投資その他の資産	2,605	2,171
敷金及び保証金	27,604	28,146
その他	29,269	27,947
貸倒引当金	△20	△26
投資その他の資産合計	56,853	56,067
固定資産合計	161,404	161,217
資産合計	326,358	333,709

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,210	15,488
短期借入金	9,065	10,325
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	368	2,063
賞与引当金	316	1,221
その他	33,995	29,152
流動負債合計	66,956	68,251
固定負債		
社債	19,000	19,000
長期借入金	5,410	10,440
退職給付引当金	3,432	3,395
ポイント引当金	2,747	2,767
その他	3,798	3,049
固定負債合計	34,388	38,652
負債合計	101,344	106,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,975	62,975
利益剰余金	127,567	128,968
自己株式	△12,247	△12,247
株主資本合計	240,800	242,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△288	170
土地再評価差額金	△17,607	△17,607
評価・換算差額等合計	△17,895	△17,437
新株予約権	287	246
少数株主持分	1,821	1,794
純資産合計	225,013	226,805
負債純資産合計	326,358	333,709

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	50,302	49,857
売上原価	22,776	22,722
売上総利益	27,525	27,134
販売費及び一般管理費	23,954	23,810
営業利益	3,570	3,323
営業外収益		
受取利息	138	112
受取配当金	124	96
不動産賃貸料	—	127
その他	310	67
営業外収益合計	574	403
営業外費用		
支払利息	83	61
デリバティブ評価損	1,582	1,600
その他	59	212
営業外費用合計	1,726	1,874
経常利益	2,419	1,852
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
減損損失	1,073	1,089
固定資産除売却損	225	47
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	493
特別損失合計	1,298	1,631
税金等調整前四半期純利益	1,120	246
法人税等	679	328
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△82
少数株主利益	72	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	367	△129

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

区 分	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金		22,276		23,555
2 有価証券		38,042		34,468
3 商品及び製品		32,745		36,015
4 原材料及び貯蔵品		367		369
5 関係会社短期貸付金		15,250		21,000
6 その他		12,476		12,968
貸倒引当金		△4		△4
流動資産合計		121,153	42.8	128,372
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建 物	99,758		98,923	
減価償却累計額	△51,310	48,448	△50,414	48,509
(2) 土 地		32,288		32,156
(3) その他	37,702		38,173	
減価償却累計額	△20,563	17,139	△19,973	18,200
有形固定資産合計		97,876		98,866
2 無形固定資産		2,275		1,887
3 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金		26,826		27,369
(2) その他		35,119		33,777
貸倒引当金		△12		△12
投資その他の資産合計		61,934		61,134
固定資産合計		162,086	57.2	161,889
資産合計		283,240	100.0	290,261

区 分	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	9,800		12,224	
2 賞与引当金	273		1,065	
3 未払法人税等	218		1,866	
4 その他	33,264		29,413	
流動負債合計	43,556	15.4	44,570	15.4
II 固定負債				
1 長期借入金	5,000		10,000	
2 社債	10,000		10,000	
3 退職給付引当金	3,266		3,228	
4 ポイント引当金	2,736		2,757	
5 その他	3,232		2,626	
固定負債合計	24,235	8.6	28,613	9.8
負債合計	67,791	24.0	73,183	25.2
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,975		62,975	
3 利益剰余金	119,636		120,849	
4 自己株式	△12,247		△12,247	
株主資本合計	232,869	82.2	234,082	80.6
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	△288		170	
2 土地再評価差額金	△17,420		△17,420	
評価・換算差額等合計	△17,708	△6.3	△17,250	△5.9
III 新株予約権	287	0.1	246	0.1
純資産合計	215,448	76.0	217,078	74.8
負債純資産合計	283,240	100.0	290,261	100.0

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第1四半期累計期間】(参考) (個別)

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		41,528	100.0		41,898	100.0
II 売上原価		17,533	42.2		17,850	42.6
売上総利益		23,994	57.8		24,048	57.4
III 販売費及び一般管理費		21,004	50.6		21,181	50.6
営業利益		2,989	7.2		2,867	6.8
IV 営業外収益						
1 受取利息	214			158		
2 受取配当金	347			319		
3 不動産賃貸料	—			187		
4 その他	295	858	2.1	32	698	1.7
V 営業外費用						
1 支払利息	74			54		
2 デリバティブ評価損	1,579			1,603		
3 その他	73	1,726	4.2	212	1,870	4.5
経常利益		2,121	5.1		1,694	4.0
VI 特別損失						
1 固定資産除売却損	224			38		
2 減損損失	832			989		
3 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,056	2.5	438	1,466	3.5
税引前四半期純利益		1,065	2.6		227	0.5
税金費用		497	1.2		169	0.4
当期純利益		567	1.4		58	0.1